

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
220322040	臨床医学 I Clinical Medicine Part I	山口 央輝			2	必修	2後期
科目の概要							
本学科では、管理栄養士に必要な専門的知識・技能だけでなく一般的知識・技能を身に付け、人々の日常生活を健康の面から支援することができる管理栄養士の育成を目指す(DP2・3・4)。「人生100年時代」の現代、管理栄養士の果たす役割は大きい。食事の摂り方により、健康寿命が変わり得るからである。本科目では、「人体の構造と機能、疾病の成り立ち」について学ぶ「臨床医学」は、管理栄養士を目指すものにとって、基礎となる科目である。「臨床医学 I」では、「疾患診断の概要」より始まる下記の内容について学ぶ。例えば「病院管理栄養士」は、患者さんの栄養状態を把握・評価し、支援することにより、病態改善に重要な役割を果たす。この学修が、将来の糧となるよう、取り組んで欲しい。							
学修内容				到達目標			
① 主要疾患の疾病概念と成因を理解する。 ② 主要疾患の病態（自覚症状、他覚症状等）と診断を理解する。 ③ 主要疾患の治療方法を、栄養に重点を置いて理解する。				① 主要疾患の疾病概念と成因を説明できる。 ② 主要疾患の病態（自覚症状、他覚症状等）と診断を説明できる。 ③ 主要疾患の治療方法を、栄養に重点を置いて説明できるとともに、知識を活用してより良い方法を提案できる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	関連科目である解剖学や生理学、生化学について復習をし、疑問点を明らかにする。自分で解決を図り、身につけるよう努力する。					
	働きかけ力						
	実行力	個々の疾患について理解を深め、臨地実習の場で生かすことができるよう努力する。					
考え抜く力	課題発見力	個々の疾患について理解を深め、管理栄養士に求められる役割を考える。					
	計画力						
	創造力	他者に発表する場面を想定して、学習内容をまとめ、分かりやすいプレゼンテーション方法を考える。					
チームで働く力	発信力	知識を一般の人にもわかるように説明する力を養う。					
	傾聴力	相手の話を丁寧に聞き取り、共感を示しながら、相手の考えを汲み取る力を養う。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	定められた期限内にレポートを提出し、意欲をもって講義に参加する。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：羽生大記・河手久弥編、臨床医学-人体の構造と機能及び疾病の成り立ち（南江堂） ※ 関連資料および復習問題プリントは適宜配布する。 関連資料の配布は、Google classroom を中心に行う。							
他科目との関連、資格との関連							
解剖生理学、生化学、および解剖生理学実習の学修を基盤として、臨床医学 I を学ぶ。 臨床医学 I 履修の後、臨床医学 II・III に繋がる。 これらの科目は、臨床栄養学とも関連する。 ※資格との関連：栄養士、管理栄養士、栄養教諭							
学修上の助言				受講生とのルール			
①解剖学、生理学、生化学の知識を十分理解し、授業に臨む。 ②小テストの解説ポイントは、赤ペンを用いてその場で書き込む。 ③返却された答案の復習はその日のうちに行う。				①学修に使用する電子デバイス(スマホ、タブレット、PC等)は積極的に活用すること。 ②テキストと配布したプリント、赤ペンは毎回持参する。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	80	①	✓	主要疾患の疾病概念、成因、病態、治療等について理解し、栄養との関係を説明できる。 授業で学んだ内容の理解度を、復習テストにより評価する。 知識の獲得：（疾患の病因・病態など）50%、 知識の活用：（疾患に伴う症状・検査所見・治療法など）30%、 知識の解決：（疾患に伴う生活への影響、栄養上の対処方法など）20% 以上の内容の筆記試験で60%以上の得点を合格とする。	
			②	✓		
			③	✓		
	平常評価	小テスト	10	①	✓	毎週の小テストは、授業中に、授業内容について確認テストを行う。 以上により、主要疾患の疾病概念、成因、病態、治療等の基本的用語を理解できているか確認する。 知識の獲得：（疾患の病因・病態など）50%、 知識の活用：（疾患に伴う症状・検査所見・治療法など）30%、 知識の解決：（疾患に伴う生活への影響、栄養上の対処方法など）20% 以上の内容の筆記試験で60%以上の得点を合格とする。
				②	✓	
				③	✓	
平常評価	レポート	0	①			
			②			
			③			
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①			
			②			
			③			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）自ら知識を深める姿勢・行動がみられること （実行力）自己の学修目標を見据え、努力する姿勢が見られること。 （課題発見力）個々の疾患について理解を深め、管理栄養士に求められる役割を考えられること。 （計画力）能率的に自己学習ができること。 （創造力）他者に発表する場面を想定し、分かりやすいプレゼン方法が考えられること。 （発信力）知識を一般の人にもわかるような説明する力を持っていること。 （傾聴力）相手の話を理解し、相手の考えを汲み取る力を持っていること。 （規律性）定められた期限内にレポートを提出し、意欲的に講義に参加できること。	
			②	✓		
			③	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①主要疾患の疾病概念、成因、病態、治療等について正しく理解し説明できること。 ②主要疾患の疾病者に対する栄養指導との関係を説明できること。 S（秀）＝①＋②、A（優）＝①または②	①主要疾患の疾病概念を説明できること。 ②主要疾患の成因、病態、治療等の基本的用語を記述でき説明できること。 B（良）＝①＋②、C（可）＝①

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	○疾患と病気・疾病の定義と分類 ○管理栄養士の役割	・講義 ・確認テスト及び解説 ・ディスカッション	疾患の分類と管理栄養士の役割について理解し、説明できる。	・予習→自分の既往症、接種済み予防接種を確認する。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
2	○第1章 加齢と疾患に伴う変化 (P. 1-P. 20)	・講義 ・ディスカッション	加齢と疾患に伴う変化、死について説明できる。	・予習→テキスト第1章 (P. 1-P. 20) を読み、疑問点を把握する。 ・復習→復習テストをもう一度見直す。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
3	○第2章 疾患診断の概要 A「問診と診察」 B「主な症候」バイタルサイン (P. 21-P. 25)	・確認テストと解説 ・講義 ・ディスカッション	問診と診察、バイタルサインについて理解し、説明できる。	・予習→テキスト第2章 (P. 21~P. 25) を読み、疑問点を把握する。 ・復習→復習テストをもう一度見直す。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
4	○第2章 疾患診断の概要 (P. 25下段~P. 39上段) 主な全身症候および、その他の症候・病態	・復習テストと解説 ・講義 ・ディスカッション	主な全身症候および、その他の症候・病態について理解し、説明できる。	・予習→テキスト第2章 (P. 25~P. 39) を読み、疑問点を把握する。 ・復習→復習テストをもう一度見直す。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
5	○第3章 疾患治療の概要 (P. 55~P. 73)	・確認テストと解説 ・講義 ・ディスカッション	治療の種類と方法について理解し、説明できる。	・予習→テキスト第3章 (P. 55~P. 73) を読み、疑問点を把握する。 ・復習→復習テストをもう一度見直す。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
6	○第4章 栄養障害と代謝疾患 (P. 75-P. 85上段) ：栄養障害、過剰症など。	・確認テストと解説 ・講義 ・ディスカッション	飢餓、栄養失調症、悪液質、ビタミン欠乏症・過剰症、ミネラル欠乏症・過剰症を理解し、説明できる。	・予習→テキスト P. 75-P. 85上段を読み、疑問点を把握する。 ・復習→復習テストをもう一度見直す。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
7	○第4章 栄養障害と代謝疾患 (P. 90下段~P. 94上段) 2型糖尿病の成因と病態	・確認テストと解説 ・講義 ・ディスカッション	2型糖尿病の成因・病態・診断について理解し、説明できる。	・予習→テキスト第3章 (P. 90~P. 94) を読み、疑問点を把握する。 ・復習→復習テストをもう一度見直す。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
8	○第4章 栄養障害と代謝疾患 (P. 94~P. 96) 第2節 2型糖尿病の治療・合併症 ○第7章 腎・尿路系の第3節 糖尿病性腎症 (P. 195~P. 196)	・確認テストと解説 ・講義 ・ディスカッション	2型糖尿病の治療及び糖尿病性腎症について理解し、説明できる。	・予習→テキスト第3章 (P. 94 ~P. 96) と、糖尿病性腎症 (P. 195~P. 196) を読み、疑問点を把握する。 ・復習→復習テストをもう一度見直す。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	○第4章 栄養障害と代謝疾患：第2節 糖尿病（1型糖尿病）（P. 96～P. 97）	・確認テストと解説 ・講義 ・ディスカッション	1型糖尿病について理解し、説明できる。	・予習→テキスト第3章（P. 96～P. 97）を読み、疑問点を把握する。 ・復習→復習テストをもう一度見直す。	180	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
10	○第4章 糖尿病の総括（P. 90～P. 97）	・確認テストと解説 ・講義 ・ディスカッション	糖尿病全般について理解し、説明できる。	・予習→テキスト第3章（P. 90～P. 97）を読み、疑問点を把握する。 ・復習→復習テストをもう一度見直す。	180	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
11	○第4章 栄養障害と代謝疾患（P. 85～P. 90、P. 97～P. 103） 肥満、メタボリックシンドローム、脂質異常症	・確認テストと解説 ・講義 ・ディスカッション	肥満、メタボリックシンドローム、脂質異常症の病態・診断について理解し、説明できる。	・予習→テキスト第3章（P. 85～P. 90、P. 97～P. 103）を読み、疑問点を把握する。 ・復習→復習テストをもう一度見直す。	180	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
12	○第4章 栄養障害と代謝疾患（P. 104～P. 106） 高尿酸血症と痛風	・確認テストと解説 ・講義 ・ディスカッション	高尿酸血症と痛風の成因・病態・診断を理解し、説明できる。	・予習→テキスト第3章（P. 104～P. 106）を読み、疑問点を把握する。 ・復習→復習テストをもう一度見直す。	180	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
13	○第4章 栄養障害と代謝疾患（P. 107～P. 113） 異常 先天性代謝	・確認テストと解説 ・講義 ・ディスカッション	新生児マススクリーニングの意義、主な先天性代謝疾患（フェニルケトン尿症、メープルシロップ尿症、ホモシスチン尿症、ガラクトース血症）について理解し、説明できる。	・予習→テキスト第3章（P. 107～P. 113）を読み、疑問点を把握する。 ・復習→復習テストをもう一度見直す。	180	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
14	○第9章 神経・精神系（P. 225～P. 235） 神経疾患； 認知症、パーキンソン病	・確認テストと解説 ・講義 ・ディスカッション	認知症、パーキンソン病について理解し、説明できる。	・予習→テキスト9章（P. 225～P. 235）を読み、疑問点を把握する。 ・復習→復習テストをもう一度見直す。	180	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
15	○第9章 神経・精神系：精神疾患（P. 236～P. 243） 摂食障害とアルコール依存症療について理解し説明できる。	・確認テストと解説 ・講義 ・ディスカッション	神経性食欲不振症、神経性大食症とアルコール依存症について理解し、説明できる。	・予習→テキスト第9章（P. 236～P. 243）を読み、疑問点を把握する。 ・復習→復習テストをもう一度見直す。	180	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力